



令和5年度冬期環境家計簿モニター

モニターさんの声

皆さんからいただいた省エネへの取組方法や感想などをご紹介します。今後の参考として、ご一読ください。

《MA》

夕方に雨戸を閉めて、夜は湯たんぽを布団に入れました。

《R&M》

暖房のエアコン設定温度をできるだけ抑えたことと夫婦とも高齢者になり、就寝する時間が早くなったことが節減に貢献したと思います。前述に加えて、子ども家族が今年は遊びに来なかったことも理由です。

《キタマチフジ》

1～2月が暖冬であったこともあり節電に努め、電気使用量を前年の約半分に抑えることができました。



《アクセス》

床暖房設置のため電気代が減ったと推定します。

《タカ》

省エネを目指して、エアコンの設定温度の管理や照明のスイッチオフ等に積極的に取組みました。

エアコンの設定温度の変更や使用時間の短縮等を心がけた結果、電気の使用量を減らすことができました。モニター期間終了後も引き続き省エネの取組を実践していきます。

《モンデオ》

2022年12月の末に節水シャワーヘッドに買い換えて、1年が経過しました。水道代、ガス代とも削減されていますが、子供一人が2022年5月に転出した影響が大きいと思われます。電気の削減もこの影響が大きいと思われます。夏のモニター報告でははっきりした比較検討ができると思います。

《たけまる》

エネルギー使用量は微減に留まったものの、燃料費調整のおかげで電気代・ガス代は3割も減らすことができました。

暖かかったおかげで床暖房の温度設定を例年より低く抑えられたので、暖房代が安く済んだと思います。

《KJK》

- ・暖冬の影響で洗濯物が例年より乾きやすく、衣類乾燥機の使用回数を減らしました。
- ・暖房器具の使用時間を減らしました。
- ・温かい食べ物を多く摂る等ウォームビズを心掛けました。

《K1SK》

【12月】筋力トレーニングの回数を増やして体を温めつつ強化したことで、暖房の使用回数を減らしました。

【1月】例年この時期は旅行に行くのですが、今年は忙しくていけなかったため、在宅時間が増えてしまいました。

【3月】あまり家にいなかったことや暖房や給湯の温度を下げたことが要因かと思われます。

《あっきつき》

暖房の設定温度を少し下げる代わりに加湿器を作動させました。

暖かい日もありましたが、曇天が多かったため、太陽光発電が有効的でなく、昨年と比べ消費電力がアップしました。

《C.T》

暖かかったので暖房代がずいぶん安く抑えられたようです。天気が悪い日が多く乾燥機を割と使いました。

《おっちゃん》

【12月】暖冬のせいかな昨年と比べ電気・ガス共に使用量及び料金も下がりました。スタート月としては順調な滑り出しでした。

【1月】電気使用量は昨年より多いのに料金は昨年よりも低くなっており、政府支援3.5円/kwhの値引きが効いているのか不明です。ガスについても15円/m³の値引きがありますが、値引き効果はハッキリと見えません。但し使用量及び料金も約半分で済みました。

【2月】電気・ガス共、1月と同じような傾向でした。いずれにしても昨年と比べ毎月電気・ガス共昨年を下回ったと言えます。何が効しているか分からないまま3か月が過ぎました。

《ハッピー》

【12月】電気の使用量：前年同月比90%と削減。ガスの使用量：前年同月比120%と大きく増えてしまいました。

【1月】電気の使用量：前年同月比78%と大きく削減。ガスの使用量：横ばいでした。

【2月】電気の使用量：前年同月比80%。去年よりも暖かかったので、エアコンの使用頻度が少なかったことが要因です。一方、ガスの使用量前年並みでした。

《素浪人》

・電気…金額（対前年-6,966円、22.24%）と申し分のない数字ではありますが、CO₂は6.5%多くなっています。料金は激変緩和値引き（国の補助3.5円/kW）あり、家計は助けられています。節電対策として、エアコン暖房を期間中一度も使用せず遠赤外線暖房機で対応しました。この先の寒さにも遠赤外線暖房にて乗り切る計画です。

・ガス…期間中の金額（対前年比-5,150円、20.35%）削減となりました。ただし、CO₂排出量は前年比1.71%プラスとなり、金額は、政府支援ガス料金値引き（期間中1,785円、15/m³）で料金は減少しましたが、ガス使用量は増加と同時にCO₂排出量も微増となりました。今冬期間は床暖房も使用せずこの状態で乗り切ったため、今後の削減策として、今一度見直しをせざるを得ないと考えます。

12月～2月の平均気温

